

下野市新庁舎建設基本設計
市民ワークショップおよび
市内中学生ワークショップのあらまし



平成24年6月

下 野 市

株式会社 佐藤総合計画

目 次

はじめに	1
市民ワークショップ	3
1) 市民ワークショップの主旨とスケジュール	4
2) 第1回ワークショップの報告	5
3) 第2回ワークショップの報告	6
4) 第3回ワークショップの報告	7
5) 第4回ワークショップの報告	8
6) 第5回ワークショップの報告	9
7) 基本設計への対応	10
8) その他		
委員名簿・委員へのアンケート	11
市内中学生ワークショップ	12
1) 中学生ワークショップの開催主旨	13
2) 中学生ワークショップのまとめ	14
3) 基本設計への対応	16
4) その他		
参加者名簿・参加者へのアンケート	17

はじめに

はじめに

ワークショップとは

「ワークショップ」とは、本来「工房」「作業場」など、「共同で何かを作る場所」の意味であり、最近では、問題解決やトレーニングの手法、学びと創造の手法としてこの言葉が使われる事が多く、あらゆる分野で「ワークショップ」が行われている。

「ワークショップ」は一方通行的な知識や技術の伝達でなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイルとして定義されている。

コーディネーター(ファシリテーター)と呼ばれる司会進行役が、参加者が自発的に作業をする環境を整え、参加者全員が体験するものとして運営される。

近年は企業研修や住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法としてよく用いられている。

ワークショップに期待される成果

市民と行政の信頼関係の構築

市民と行政が同じテーブルで情報を交換し、知恵を出し合う体験で、「市民は一方的に要求するだけではない」「行政は一方的に計画を押しつけるだけではない」といった意識が相互に生まれ、市民と行政の信頼関係が構築される。

庁舎建設を通じて高まる「まちづくり」への関心

ワークショップという「場」を通して、新しい地域ネットワークの「芽」が形成される可能性が生まれ、庁舎建設に対する地域合意の形成が大きな目的だとしても、合意が「納得」というレベルなのか「参画」というレベルなのかによって、その後の「まちづくり」の展開は大きく異なる。このような成果は従来の説明会などのスタイルでは決して生まれない。

市民と行政のパートナーシップ効果

行政側の「スタンス」と市民側の「想い」とのギャップは生じ得るものだが、ワークショップを通じて、問題提議について、行政側は可能性を探り、市民側も解決に向けて協力・行動するなど、良いパートナーシップを作り上げるきっかけを作る場となる。

市民ワークショップ

- 1) 市民ワークショップの主旨とスケジュール

市民ワークショップの主旨

- ・新庁舎の設計を進めるにあたり、主として市民に開かれる「場所」、例えばロビーや広場などの共用スペースを対象に、市民として利用する立場から活用のアイデアや要望をワークショップを通じて、活発に議論した。
- ・市民ワークショップの委員(参加者)は、市内の各種団体からの推薦者19名、公募委員6名の計25名というバランスの良い構成とした。
- ・ワークショップを円滑に効率よく進めるため、新庁舎の「基本構想」及び「基本計画」の策定に尽力していただいた、宇都宮大学の三橋教授のご指導のもと、1ヶ月に1回のペースで全5回開催した。
- ・実現可能なアイデアについては、基本設計・実施設計の中で技術面・運用面・経済面等の観点から総合的に検討していく。
- ・委員の方には、当市民ワークショップに参加していただいた事を契機に、行政と市民の信頼を更に深め、庁舎建設やまちづくりに至るまで、市民参画の意識がより高まることを期待している。

市民ワークショップで対象とした「場所」

A 内部空間

市民ロビー 市民窓口 会議室 議場 トイレ

B 外部空間

広場 駐車場 屋上テラス

以上について、使い方を中心にワークショップを行った。

市民ワークショップのスケジュール

- 第1回ワークショップ 11月24日(金)
テーマ 『私が市庁舎に望むこと』『市庁舎について話し合いたい場所』 について
- 第2回ワークショップ 12月16日(金)
テーマ 『市民ロビー、窓口、議場、トイレ』 の使い方について
- 第3回ワークショップ 1月20日(金)
テーマ 『広場、駐車場(外部空間)』 の使い方について
- 第4回ワークショップ 2月24日(金)
テーマ 『市民ロビー・広場、会議室・テラス(連続した外・内部空間)』 の使い方について
- 第5回ワークショップ 3月30日(金)
テーマ 『市民ロビー、広場・駐車場、会議室・テラス』 を使う際に必要な機能および使い方の優先度について

コーディネーター

宇都宮大学工学研究科 三橋伸夫 教授

- 2) 第1回ワークショップの報告

下野市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ 第1回

開催日時: 平成 23 年 11 月 24 日 (金)

第1回市民ワークショップ

参加人数(男性 13 人、女性 8 人、合計21人)

『私が市庁舎に望むこと』
『市庁舎について
話し合いたい場所・テーマ』

4 班に分かれて活発な
ディスカッションが行われました。

1. 板橋副市長からの挨拶



2. 委嘱状の交付 委員・コーディネーター



3. 計画経緯概要の説明



4. 設計提案の考え方の説明



5. ワークショップの様子



第1回市民ワークショップのまとめ (各班の発表) | 第2回市民ワークショップのテーマ検討

■ A 班 (6 名)

- ・ロビーの活用方法に関して話し合いたい
- ・市民が利用できる議場がほしい

■ B 班 (6 名)

- ・ロビーの活用方法に関して話し合いたい
- ・コンサートのできるスペースがほしい
- ・駐車場の利用方法に関して話し合いたい

■ C 班 (5 名)

- ・トイレに関して話し合いたい
- ・便利さ使いやすさに関して話し合いたい
- ・窓口を判りやすくしてほしい
- ・バリアフリーにしてほしい

■ D 班 (4 名)

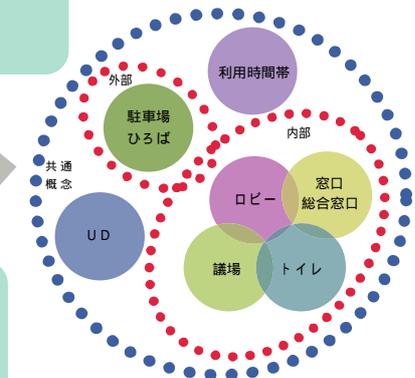
- ・総合窓口がほしい
- ・トイレに関して話し合いたい
- ・駐車場に関して話し合いたい
- ・利用時間を利用しやすい時間帯にする

第1回 WS のまとめ

- ・ロビーの活用方法
- ・市民が利用できる議場
- ・コンサートができるスペース
- ・わかりやすい窓口
- ・総合窓口
- ・安全清潔で使いやすいトイレ
- ・駐車場の利用方法
- ・ユニバーサルデザイン
- ・利用時間帯

出された意見の概念を「空間・機能・時間」で、モデル化してみる。

検討すべきポイントを抽出してみる。



庁舎について話し合いたい場所・テーマの相関図

- 3) 第2回ワークショップの報告

下野市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ 第2回

開催日時：平成23年12月16日(金)

第2回市民ワークショップ

参加人数(A班5名、B班6名、C班5名、D班6名 合計22名)

『市民ロビー、議場、
窓口、トイレ』の
4テーマについて
4班に分かれて活発な
ディスカッションが
行われました。

1. 広瀬市長からの挨拶



2. 三橋教授から主旨説明



3. 市庁舎の事例紹介(佐藤総合計画より)



4. ワークショップの様子



第2回市民ワークショップのまとめ(テーマごとの各班の発表)

市民ロビー

A班

- ・自然光の入る明るいロビー
- ・市民の作品等を展示場
- ・カフェ、食堂、健康関係コーナー
- ・各種イベントスペース
- ・軽く集まれるブース

D班

- ・明るいロビー、交流スペース
- ・軽食、店舗スペース
- ・作品展示や情報発信の場
- ・ミニコンサートのできるスペース
- ・4～5人用のテーブル席

C班

- ・イベントスペース
- ・飲食、店舗、情報発信スペース
- ・テーブル席
- ・キッズコーナー
- ・広場と一体で利用できるロビー

議場

B班

- ・小ホールを議場に利用
- ・フラットな床
- ・議場家具を可動式にする
- ・学生の発表の場を利用

窓口 総合窓口

C班

- ・ゆっくり手続きできる場所・スペース
- ・案内・対応してくれる人的サービス
- ・分かりやすい案内・表示板(サイン)

B班

- ・総合案内所を設置
- ・窓口の職員が少なくて済む工夫
- ・インターホンの活用
- ・窓口部門は1階にまとまる

トイレ

A班

- ・多機能トイレの設置
- ・トイレの他に授乳室の設置
- ・手の届く高さに荷物掛けの設置
- ・分かりやすい配置・表示板(サイン)
- ・洋式便器の採用

D班

- ・WCは各階2、多目的は各階1箇所
- ・入口付近に設置
- ・ブース内に荷物を置く棚の設置
- ・清潔で明るく
- ・防犯対策を考慮

WS委員からでた使い方のアイデアや意見をもとに基本設計をまとめます。

第2回は内部についてのWSでした。
次回は、外部空間についてのWSを行います。

- 6) 第5回ワークショップの報告

下野市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ 第5回 開催日時: 平成24年3月30日(金)

第5回市民ワークショップの概要

参加人数(A班6名、B班5名、C班5名 合計16名)

テーマディスカッション 1

前回までのまとめを踏まえ、A班市民ロビー、B班広場・駐車場、C班会議室・テラスについてそれぞれ、1. 気軽さ、2. ユニバーサルデザイン、3. 情報、4. 利用時間、5. 防災の5点の観点から議論して頂きました。

テーマディスカッション 2

各班のテーマの場所と他の班のテーマの場所との関係性について議論が行われました。

優先度投票

これまでの議論を踏まえ、全員でそれぞれの場所についてのどの項目・意見を優先して新庁舎の設計に反映してほしいかを投票しました。

テーマディスカッションのまとめ

各班がくじびきにより3つのテーマから議論するテーマを決定し、第4回までの議論を踏まえて、さらに、5つの観点(1. 気軽さ、2. ユニバーサルデザイン、3. 情報、4. 利用時間、5. 防災)から意見を出していただきました。また、各班が他の班が議論している場所との関係性についても議論をしていただきました。

場所別にみた項目ごとの意見

A:ロビー班6名

ロビー							
気軽さ	UD	情報	利用時間	防災	広場・駐車場との関係	会議室・テラスとの関係	執務空間との関係
ガラス張り ガラス張り エントランス広く 休憩所のイス、ベンチ 時間つぶしに使える空間 待ち合わせ場所 交流出来る所 案内板の設置 内装は明るい色 ATMがどこにある 24時間利用出来るトイレ	出入り口に障害ない 歩きやすいフロア 手摺は明るい色 転倒しても安全な床 床に案内ライン 業務室コーナー 利用したくなる階段 トイレは事前に トイレは清潔で明るい	案内板は大きく目立つように 県や市の情報をモニター表示 外から分かるイベント予定表 施設内の催し物の案内 案内板設置	勤務時間外でも入れるスペース 一般の人が使える用具環境 展示期間は長めに	防犯グッズ 監視 自家発電 避難場所を想定 ベンチをベッドに出来る パネルで区切り個室を作る 調理室の設置 避難場所を知らせるコーナー	出入り口広く 窓大きく ドア開閉しやすい	エレベーターの場所が使いやすい 階段の中央に落り場 講演会のポスターを分かりやすく	廊下に色分け 窓口、ロビーから執務空間が見渡せる

B:広場・駐車場班5名

広場・駐車場							
気軽さ	UD	情報	利用時間	防災	ロビーとの関係	会議室・テラスとの関係	執務空間との関係
季節の花を咲かせる 広場が周りに見渡せる ゴミのかごを置かない ひなたぼっこ出来る 遊歩道の設置	雨用の滑り止め 車止めは不要 スロープをつける 障がい者用駐車場は標識をつける	なし	小駐車場は24時間 大駐車場は利用時間内 駐車場の利用は業務時間内のみ 防犯上利用時間は必要	屋上へ外からも行ける 非常用電源の確保 非常用電源設置 駐車場地下に雨水貯水槽 防災用エレベーター 自家発電装置	カフェなどに直接入れる	テラスは入植がほしい	役員内に喫煙所は作らない 喫煙人は屋上テラスへ 職員休憩所は庁舎内に

C:会議室・テラス班5名

会議室・テラス							
気軽さ	UD	情報	利用時間	防災	ロビーとの関係	広場・駐車場との関係	執務空間との関係
廊下との仕切りは透明性を考慮 給湯室の設置 テーブル、イスは可動式 窓大きく、明るく アューアフォンカーテンなどで仕切る 会議室で飲食可能 廊下のアートギャラリー化 議員控え室無くて議場広く 蒸気完備	バリアフリー 一階からのアクセスがしやすい 和室に産椅子 椅子は動きやすい 会議室内は段差無くす LEDの証明 テラスは雨でぬれない 可動式の屋根	プロジェクター、スクリーン設置 パソコン用意 ホワイトボード、印刷機設置 天体観測用の星図表 フロアビッド 行政情報のプレゼンシステム 音響設備完備	朝礼後も利用可 土日利用可 責任は利用者に テラス日曜使える 休館日は週一回	屋上へ外からも行ける 防災時の避難所 最悪時の市民受け入れ態勢 自家発電設備 テラスに一時備蓄庫	エレベーターの利用しやすい カフェへ行きやすい	夜間、休日のアクセス	会議室と空間を明確に分ける

まとめ

第4回までの議論で得られたご意見をまとめイメージとして視覚化することで、今までの議論の内容が分かりやすく整理できました。さらに、今回は、一度話し合った場所について5つの視点から再度、違うグループで議論していただくことで、今までの意見の復習と見落としがないかダブルチェックを行うことができたと思います。最後に委員の皆様のご賛意として、新庁舎建設に向けて、どの点を優先的に検討していくかを決定できたことで、市民ワークショップを通じて、市民が新庁舎に求めることが明確化したと思います。

下野市新庁舎建設設計業務 基本設計

1. 三橋教授から主旨説明



2. 設計者からまとめイメージの説明



3. テーマディスカッションの様子



4. ファシリテーターによる発表



各スペースで市民が実現したい項目の検討(優先度投票)

意見の優先度投票結果

場所	投票数 票/空票	優先度 順位	実現したい項目
A 市民 ロビー	6	1	A1 イベント (市民参加型文化祭、福祉フェスタ (公民協賛型)は協議、市民コンサート は協議、マラソン大会、音楽発表、三三動物園)
	4	9	A3 カフェ・喫茶
	2	6	A6 避難場所・ 支援物資集積庫
	3	5	A5 図書・情報コーナー
	1	5	A6 地元の紹介・ アンテナショップ
	2	3	A4 展示・ギャラリー
	0	0	A2 交流の場
	0	0	A7 キッズコーナー
B 広 場・ 駐 車 場	3	12	B1 イベント (市民参加型文化祭、福祉フェスタ、 公民協賛型)は協議、市民コンサート は協議、マラソン大会、音楽発表、三三動物園)
	3	7	B4 防災訓練スペース
	4	4	B3 婚活支援記念植樹
	3	3	B6 遊歩道
	1	1	B2 歴史文化継承(日光街道等)
C 会 議 室・ テ ラ ス	5	9	C2 講演会
	3	8	C1 イベント (市民参加型文化祭、福祉フェスタ、 公民協賛型)は協議、市民コンサート は協議、マラソン大会、音楽発表、三三動物園)
	4	6	C4 会議(総会・協議会など)
	0	2	C5 軽食コーナー
	1	2	C6 ミニコンサート
1	1	C3 懇親会・交流会	
1	1	C7 和室	

一人あたり1班で議論した内容について3票、他の班で議論した内容について3票の計6票/人

- 7) 基本設計への対応

市民ワークショップによる意見・アイデアの整理

市民ワークショップの意見

- 市民ロビー: イベント、軽飲食、防災、情報コーナー、物産販売、展示、交流の順で意見が多くあった。中でも特にイベント、軽飲食、防災の意見が多くあった。
- 窓口 : 全ての窓口業務を1階へ配置、総合案内、案内サインなどの機能面についての意見があった。
- 会議室 : 講演会、イベント、会議、ミニコンサート、交流の順で意見が多くあった。特に講演会、イベント、会議の利用についての意見が多くあった。利用人数については100~200人の意見が多くあった。
- 議場 : 多目的な利用などについての意見があった。
- トイレ : 多機能、複数箇所、分かりやすい、衛生的などの機能面の意見があった。
- 広場 : 交流、イベント、防災などの利用について意見があった。
- 駐車場 : イベント、防災の利用、遊歩道、旧日光街道の継承などの意見があった。
- 屋上テラス: イベント、軽飲食、交流などの利用について意見があった。

基本設計への反映と今後の検討について

基本設計への反映

参加者から出された意見やアイデアは、基本的な考え方や優先度などの視点で整理する。庁舎本来の機能を確保した上で実現可能な意見やアイデアは、『市民ワークショップでの意見』として基本設計の検討項目に盛り込み、今後具体的な検討を行う。

市民ロビー(1階)については、交流、展示、情報コーナー、イベントなどの使い方や災害時の一時避難場所としても対応できるように固定した壁をつくらないフレキシブルな空間とする。また、軽飲食、物産販売などにも対応できる計画とする。

窓口エリア(1階)については、利用頻度の多い窓口を集中配置し、更に来庁者への利便性向上のため総合案内、案内サインなどを計画する。

会議室(2、3階)については、庁舎の共用会議室として計画し、庁舎業務で利用しない休日などに、市民利用の講演会、イベント、会議、ミニコンサート、交流などの用途に対応できる施設を計画する。また、少人数から大人数の利用に対応できるように移動間仕切りを計画する。

議場については、議会機能を確保しつつ、市民が多目的に利用できる工夫を検討する。

トイレについては、来庁者の集中する窓口エリア付近には複数箇所、配置する。また、多機能トイレを併設する。

広場については交流、イベント、防災などに対応できる多目的な空間として計画する。

駐車場についてはイベント、防災などに対応できる多目的な空間として計画する。また、遊歩道、旧日光街道の継承なども検討する。

屋上テラスについてはイベント、軽飲食、交流などに対応できる計画とする。

今後の検討

具体的なスペースや広さ、仕様、什器備品および運営などについては今後の検討とする。

- 8) その他

委員名簿

(敬称略)

	推薦団体等	氏名
1	下野市自治会長連絡協議会	倉井 徳勇
2	下野市自治会長連絡協議会	洪田 唯弘
3	下野市自治会長連絡協議会	山家 政勝
4	下野市農業委員会	高田 憲一
5	石橋商工会	長 康史
6	南河内商工会	須藤 武
7	国分寺商工会	高橋 洋行
8	下野市女性団体連絡協議会	加藤 芳江
9	下野市ボランティア連絡協議会	井上 永子
10	下野市身体障害者福祉会	金島 亀夫
11	下野市老人クラブ連合会	君島 武男
12	下野市民生委員児童委員協議会	渡辺 欣宿
13	下野市地区交通安全協会下野支部	奥田 勉
14	笹原住みよいまちづくりの会	大越 一雄
15	下野市消防団	渡辺 吉一
16	下野市女性防火クラブ	海老原新子
17	PTA連絡協議会	伊沢 幸子
18	下野市環境美化推進委員会	伊沢 久男
19	社会福祉協議会	大林 良子
20	公募	岩上 典子
21	公募	園部小由利
22	公募	大橋 敏子
23	公募	小室 正男
24	公募	木村 保弘
25	公募	浦谷 和哉

委員へのアンケート

各回のワークショップ終了後、全委員にアンケートを行った。「グループ内の議論に関して」、「ワークショップの進め方に関して」、「自由意見」の項目について意見を求めた。全5回のアンケートを平均して「グループ内の議論に関して」、「ワークショップの進め方に関して」の両方の項目で、およそ90%の方に「満足」、「ほぼ満足」との意見を頂き、ワークショップ全体の満足度も90%超と、概ね高い満足度が得られたと思われる。

参加者に評価された点は、ワークショップを少人数のグループ編成にて実施したこと、また毎回メンバーを入れ替えて実施したことにより、自分の意見を積極的に発言でき、色々な方と議論できたことや、コーディネーター(ファシリテーター)として宇都宮大学の三橋教授および同大学の学生に参加していただいたことでうまくまとめられたという意見があった。また、様々な人の意見を聞くことで視点が広がったという意見が得られた。

課題・反省点としては、時間が足りないという意見が多く寄せられたこと、自分の意見を文字にまとめる(付箋紙への記入)ことが難しかったという意見があった。議論や作業の時間的コントロールや意見のまとめ方はワークショップによる意見集約という点で、今後の課題といえる。

市内中学生ワークショップ

- 1) 中学生ワークショップの開催主旨

中学生ワークショップの主旨

将来の下野市を担う市内の中学生が、新庁舎に求めること・夢・希望を自由に議論することで、市庁舎を身近に感じてもらうとともに、ワークショップを通じて同世代の連帯感や大人(コーディネーター、ファシリテーター、サポーター)との交流を図る。また、中学生ならではの視点からのアイデアに期待した。

中学生ワークショップで対象としたテーマ

中学生ワークショップは1回のみで開催であることから、内部空間・外部空間を問わず、柔軟な発想で取り組めるよう、次の4つのテーマについて検討した。

下野市らしさ

環境にやさしい

気軽さ

自由テーマ

市内中学校は、南河内、石橋、国分寺の3地区にバランスよく配置されていることから、地区ごとの特色の表出、下野市全体のアイデンティティの再確認を行う。

コーディネーター

宇都宮大学工学研究科 三橋伸夫 教授

Ⅲ-2) 中学生ワークショップのまとめ

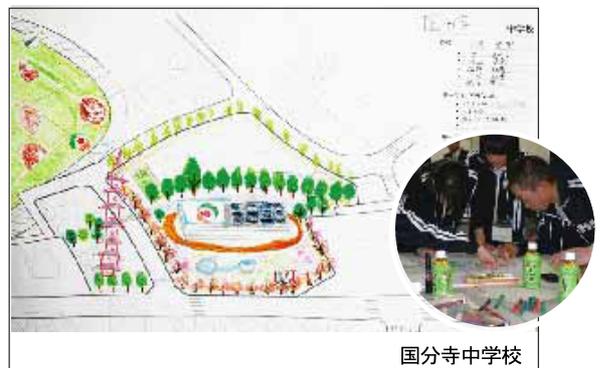
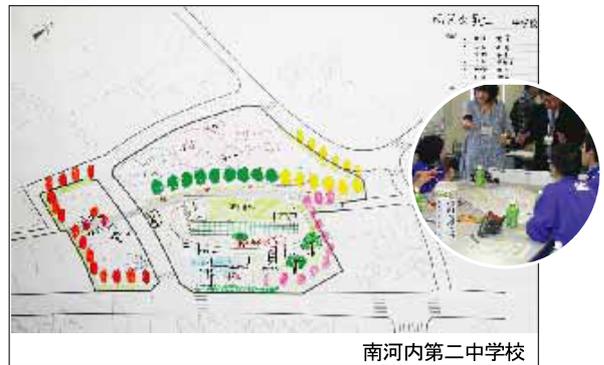
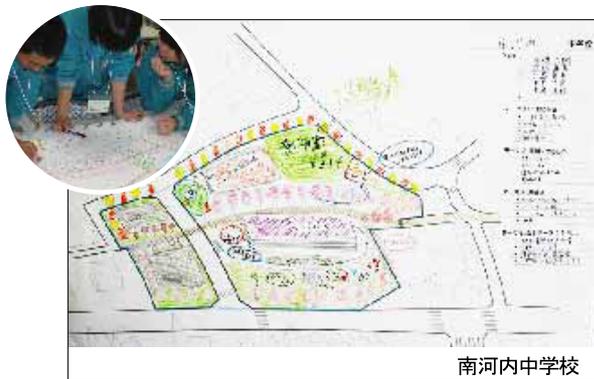
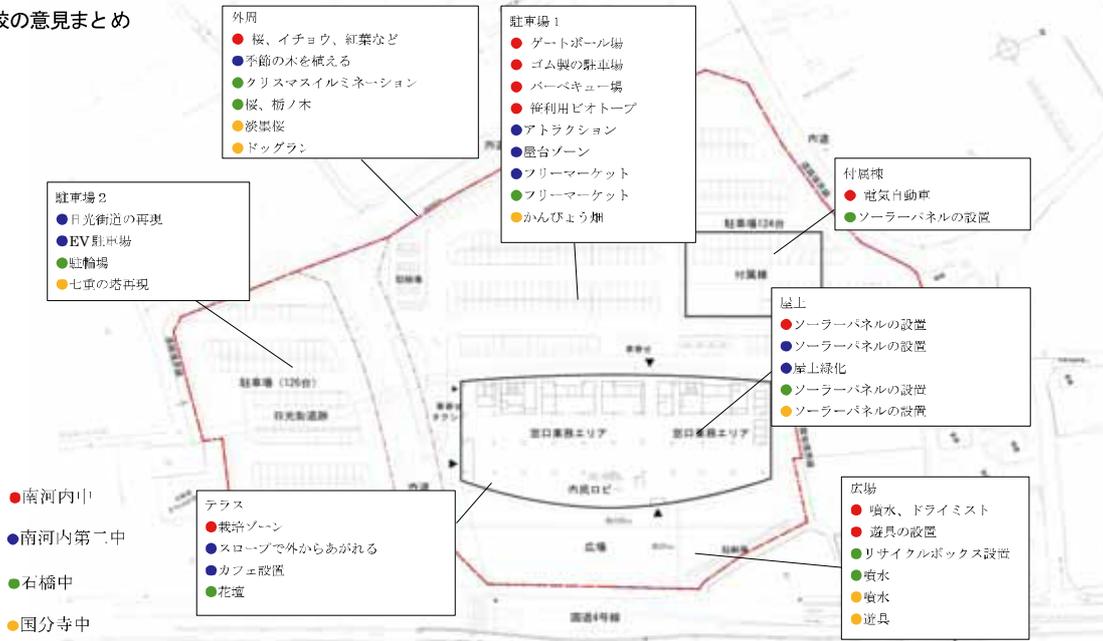
下野市新庁舎建設のための市内中学生ワークショップ (2)

開催日時: 平成24年4月14日(土)

使い方イメージスケッチの作成(下絵に自分たちが考えた新庁舎の使い方を「表現」していく)

新庁舎のイメージスケッチと4つのテーマについて議論した結果を踏まえて、将来の新庁舎とその周辺環境がどのようになってほしいかイメージスケッチに色を塗ったり、提案を書き込んだりして、各校ごとに自分たちの思い描く新庁舎の姿を一枚の絵に表現しました。

各校の意見まとめ



まとめ

ワークショップ開催により下野市の将来を担う中学生世代に対して、新庁舎建設をより身近に感じてもらうことができたと感じています。下野市の気候や風土、歴史を振り返ってもらい、若い世代が、どうすれば市民がより新庁舎を利用しやすいものになるかを議論し一枚の絵としてまとめることで、プロセスを楽しみながら、新庁舎のイメージを思い描くことができたと思います。

- 3) 基本設計への対応

中学生ワークショップによる意見・アイデアの整理

中学生ワークショップの意見

- 下野市らしさ : 下野市は...自然が豊か、JR3駅があるなど交通の便が良い、お年寄りが多い、水が綺麗。
新庁舎には...かんぴょう畑をつくる、淡墨桜(うすずみざくら)を植える、国分寺七重の塔を再現する、など。
- 環境にやさしい : リサイクルボックスの設置、壁紙を白くして室内を明るくする、発電する、季節の花を植える、庁舎で野菜を作り直売する、ドライミストの設置、電気自動車を使う、充電スポットの設置、LED照明を使う、屋上緑化、グリーンカーテンを作り野菜も作る、地産地消を行う、桜並木を作る、など。
- 気軽さ : 体験イベントを行う、クリスマスのLEDイルミネーションを行う、自習室を設ける、喫茶スペースの設置、屋上テラスでイベントを行う、地産レストランの設置、テラスにカフェの設置、テラスに直接上がれる階段の設置、屋上にステージを設ける、噴水の設置、遊具の設置、せせらぎを作る、ドッグランの設置、遊歩道の設置、足湯の設置、バス停の設置、ゲートボール場を作る、バーベキュー場を作る、スポーツ競技場を作る、など。

自由テーマ

- ・交流 : 姉妹都市との交流会を開く、小中学生の作品展示を行う、講習会を行う、「下野市ふるさとかるた」大会を行う、など。
- ・イベント : フリーマーケット、ステージを作りイベントを行う、旧日光街道を再現する、など。
- ・愛称 : 庁舎に愛称を付ける(「こもれび」「ふれあい」)、など。

総括として、中学生ならではのユニークな意見と同時に、昨今のエネルギーに対する意識の高まりを反映した意見も多く示された。

基本設計への反映について

基本設計への反映

参加者からでた意見やアイデアは市民ワークショップでの意見同様、実現可能なものについては、「中学生ワークショップでの意見」として基本設計の検討項目に盛り込み、今後具体的な検討を行う。

- 4) その他

参加者名簿

市内中学校単位に2年生及び3年生の生徒、計23名がワークショップに参加した。

(敬称略)

	中学校名	氏名
1	南河内中学校	佐藤 大樹
2	南河内中学校	渡辺 麻夏
3	南河内中学校	小島 愛永
4	南河内中学校	坂本 理彩
5	南河内中学校	後藤 圭祐
6	南河内第二中学校	中道 衡貴
7	南河内第二中学校	山口 凌司
8	南河内第二中学校	今村 茜音
9	南河内第二中学校	中山安祐子
10	南河内第二中学校	阿部 悠大
11	南河内第二中学校	日引 桃子
12	石橋中学校	小林 武史
13	石橋中学校	黒坂 康平
14	石橋中学校	齋藤 絢香
15	石橋中学校	笹木 颯音
16	石橋中学校	渡邊 美咲
17	石橋中学校	吉田 脩人
18	国分寺中学校	前原 隆史
19	国分寺中学校	池 あかり
20	国分寺中学校	井上 星奈
21	国分寺中学校	松野 将馬
22	国分寺中学校	今城 和香
23	国分寺中学校	橋本 蒔子

参加者へのアンケート

ワークショップ終了後、参加者全員に『グループ内の議論に関して』、『ワークショップの進め方に関して』アンケートを実施した。結果は両方の項目で、「満足」「ほぼ満足」との意見を頂いた。

『グループ内の議論に関して』の問いについては、ワークショップがはじめての経験で、緊張する雰囲気を想像していたが、議論が進むにつれて徐々に慣れ、「いろいろな意見を積極的に言い合えてよかった」という意見が多かった。それぞれの中学校単位のグループで意見を出し合い、日ごろから交流のあるメンバーで議論できたことが、議論の活発化にもつながったようだ。課題としては、もう少し、具体的な情報や議論する時間が欲しかったという意見があった。

『ワークショップの進め方に関して』は、もう少し時間が必要だと感じた参加者もいたが、ファシリテーターや事務局、設計者が参加して、「和やかで話しやすい雰囲気を作ってくれて、しっかりと取り組むことができた。」という意見が得られた。

また、その他の意見として、他校の発表に対して、「新庁舎に愛称をつける」、「旧日光街道の復元」、「カフェや直売所の設置」、「LEDランプを用いたイルミネーション」が印象的だったとのコメントがあった。

今回のワークショップを通して、「市長や他校の生徒たちと交流できる機会になってよかった」、「もっといろんな世代の人とワークショップをしてみたい」、「話やすい雰囲気に参加してよかった」、「また特別なことを決めるときにワークショップがあればいい」などといった、意見が寄せられ、生徒たちが、この会を通じて、ワークショップが自分たちの意見を伝えやすい手法だと感じたようだ。



下野市新庁舎建設基本設計 ワークショップ

下野市 総合政策部 庁舎建設準備室

報告書作成及びワークショップサポート
株式会社佐藤総合計画(新庁舎設計者)

コーディネート(ファシリテート)及びワークショップサポート
宇都宮大学 大学院工学研究科・工学部建設学科